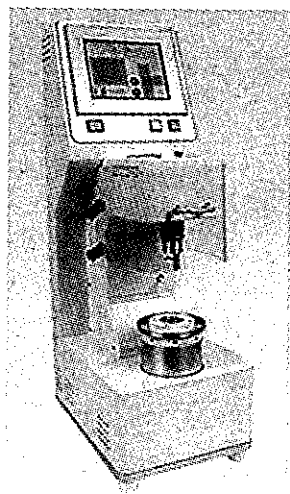


ゲルタイムを簡単計測

松尾産業 熱硬化性樹脂向け

化学品および周辺装置商社の松尾産業(大阪中央区本町)は、熱硬化性樹脂向けの自動硬化時間測定装置を業界で初めて市場投入する。ゲルタイム測定を誰でも簡単に測定できる装置で、主に総合樹脂メーカーの研究開発や品質管理部門向けに展開していく。従来の手動測定法では、測定者によってデータが異なるケースがあった。同社は新製品として初年度30台の販売を目指す。



熱練が不要で誰でも同じデータが得られる「まどか」ムとして判定する。

大手樹脂メーカーの研究開発や品質管理部門で、樹脂のパフォーマンスを最大限に引き出すため、樹脂の性能評価や分析作業が欠かせない。ゲルタイムは、エポキシ樹脂など熱硬化性樹脂を攪拌し、ゲル化するまでの時間を指す。通常、樹脂メーカーでは樹脂を攪拌するトルクと時間を計測し、トルクの想定値を超えた時間をゲルタイムとして判定する。

しかし実際には、現場の測定者が手動測定法を用いて実施するため、個人によって測定値が変化するリスクがある。松尾産業が市場投入する自動硬化時間測定装置はサイバー(愛媛県)。

「まどか」(商品名)では、2軸偏心の攪拌方法を採用した。新開発の攪拌棒を回転させ、一定のトルクを樹脂に加え、攪拌する仕組みで、幅広い樹脂の測定ができる。製造元はサイバー(愛媛県)。

粘着力の弱い樹脂向けにはレジタイプ、粘着力の強い樹脂向けにはフックタイプを用意した。対応

装はエポキシ樹脂、フェノール樹脂、不飽和ポリエステル樹脂、ポリイミド樹脂、エラストマー樹脂、シリコン樹脂など幅広い樹脂に対応する。

装置が自動で硬化時間を検出するため、操作の熟練が必要なく、誰でも同じデータが得られる。また高速温度制御により、熱盤が設定温度に到達するまで3分以内ですむ。各種攪拌棒の開発により幅広い樹脂測定ができる。装置本体で測定でき、データをUSBメモリ

リに保存しネットワークへのアクセスが可能。さらには熱盤を使用しない時は、設定時間を過ぎると自動でヒーターが停止する。

松尾産業のリーディング・デバイスでは太陽電池、リチウム電池、燃料電池など新エネルギー分野やディスプレイの光学フィルムなど先端分野をはじめ、材料・デバイス設備の開発を進めている。また紫外線(UV)硬化などUV関連も展開している。

クラウド活用推進

米企業買収を弾みに

一業
事
高シ
ソリ
ユ事
事
度
高シ

横河電機は9日、高度ソリューションビジネスの拡大を目的に、新たに設置した事業ユニットである「インテグレーション・ソリューションズ」を中核として、クラウドを活用した

事業展開を推進すると発表。同社は2015年末にクラウドサービス事業を手掛ける米企業を買収し、高度クラウドソリューション展開のため、クラウドフォームを

整備していた。同社は中期経営計画「トランスフォーメーション2017」における制御事業戦略の一つとして、ソリューションビジネスの拡大を掲げている。

日立オートモティブシステムズは、県民たちなかに、現有道路で、企業のクラウド開発した自動車の走行実証試験すると発表した。

自動走

FIT法改正案 閣議決定

電源間バランスなど改善

政府は9日、再生可能一。その一方、認定二。改革の成果を主

適切な事業実施を確保するため、開始前の審査に加え、事業実施中の点検・保守や終了後の設備撤去の遵守を求めるなど、制度の規律性を高める。事業管理の競争促進

を導入、大規模太陽光から実施する。中長期的な買い取り価格の目標を設定し、数年先の認定案件の価格低減スケジュールをあらかじめ

の長い電源への参入を促す。電力システム改革に連動して再生エの買い取り義務者を電力小売りから送配電事業者に変更する。

手電力と新電力各社が自主的な枠組みとして8日に設立した新組織を「野心的な取り組み」と評価した。これまで「是認で

計画容認を正式た。効率の悪い新設は認めず、が進めるCO2の進捗を環境省検することなど